

学校通信

ひがしやま 第28号

発行日 令和7年8月26日(火)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○2学期の始業式(8/26)を迎えて

・園児、児童生徒の元気な姿を前にして、2学期の始まりを告げられたことは、大変喜ばしいことでした。子どもたちに伝えたことは以下のとおりです。①2学期は行事が多く、出番が増えます。頑張っているところをたくさん見てもらいましょう。頑張っている友だちをしっかりとほめてください。②規則正しい生活を心掛け、運動会の練習などでは、先生方の指導などに従い、自分自身も体調管理に気をつけてください。③授業を真面目に受けて、宿題をしっかりとやって、わからないところは先生に尋ねるといった習慣をつけてください。④今、悩んでいることや悩んでいる友だちがいたら、保護者や先生方に相談してください。

また、始業式終了後、歯と口の健康ポスターコンクール及び高山辰雄ジュニアデザイン展において、優秀な成績を収めた児童の表彰を行いました。



★★

○児童生徒トイレの洋便器化について

・標記の件については、昨年度から、年度をまたいで要求していました。他校からも同様の要望があったことから、別府市教育委員会は、市内校長会の席上、以下の理由により、「トイレの補修等の対応は困難」と回答しました。

- 1 平成30年～令和2年度にかけて、トイレの洋便器化整備事業は完了。
- 2 当時の「学校担当者」と協議の結果、便器数(和・洋)を決定し、整備した。
- 3 事業には、国費、起債等を活用。再度の改修は制限される。

なお、本校は平成28年度から令和6年度の9年間の児童生徒数増減率では、200%を超えている状況(他校では小学校では104%、中学校では108%が最多)などから教育環境の整備について、要望を重ねてきましたが、今のところ、このような経過です。

★★

○大城正二先生をお招きして(8/21)

・本校の学校運営協議会委員及び第5代校長園長の大城氏に、職員対象の講話をお願いしました。本校や地域の歴史や文化、学校のあり方について、職員間で議論を重ねてきたこと、これからの方向性など、ご自身の本校本園に寄せる思いを込めて、お話いただきました。